

西小学校 北西側住民説明会 議事概要

1 日時・参加人数

	日程	時間	参加人数
第1回	2025年11月18日（火）	10:00～11:30	7名
第2回	2025年12月10日（水）	10:00～11:30	9名
第3回	2026年1月21日（水）	10:00～11:45	11名
第4回	2026年3月4日（水）	10:00～11:45	8名

2 場所

西小学校 2階多目的室

3 第1回から第4回までの主な質疑応答

質疑	回答
仮設校舎を建設し、現在の場所に新校舎を建設してほしい。	仮設校舎を建設し、現在の位置で改築してほしいという皆様のご要望につきましては、日々の生活環境の変化への強いご不安からくるものであり、そのお気持ちは深く理解しております。しかしながら、仮設校舎の建設には多額の費用と、1～2年の工期の延長が見込まれます。これは市の財政状況に加え、長期にわたり児童がグラウンドを使用できなくなるなど、子どもたちの教育環境にも多大な影響を及ぼすため、実現が極めて困難な状況でございます。誠に心苦しい限りではございますが、仮設校舎の建設は見送り、グラウンド側に新校舎を建設する案にて進めさせていただくことにつきまして、何卒ご容赦いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
住宅から校舎までの距離が近すぎないか。圧迫感や日影が心配である。	新校舎が近接することによる圧迫感や日影の増加に関するご懸念はごもっともであり、皆様の穏やかな暮らしに影響が生じてしまうことについて、大変申し訳なく受け止めております。皆様のご意見を真摯に受け止め、工期や予算、学校運営に必要な教室面積等を再検証いたしました。その結果、当初案の7mから1m後退させ、住宅地の敷地境界線から8mの距離を確保する計画へと見直しました。建物の構造上および面積の制約から、これ以上距離を離すことは困難となっております。

	<p>ります。ご希望に完全にお応えできず誠に申し訳ございませんが、現状の中で少しでも影響を軽減するための最大限の譲歩案として、どうかご理解いただけますようお願い申し上げます。</p>
<p>公園側（発寒西公園側）に校舎を建てることはできないのか。</p>	<p>新校舎を公園側に配置いたしますと、既存校舎と重なる部分が生じて工期が長期化するほか、給食車両などの動線と児童の動線が交差してしまい、子どもたちの安全確保が難しくなるなどの課題があり、採用が難しい状況でございます。皆様のご要望に沿えず大変申し訳ございませんが、児童の安全と速やかな教育環境の整備を優先せざるを得ない事情につきまして、何卒ご海容くださいますようお願い申し上げます。</p>
<p>住民から提案した配置案（既存校舎を一部残しながら建設する案など）は採用できないのか。</p>	<p>既存校舎を一部残しながら新校舎を建設する案など、具体的な図面までご検討・ご提案いただきましたこと、深く感謝申し上げますとともに、そこまでご苦勞をおかけしてしまったことをお詫び申し上げます。ご提案いただいた案について、何とか実現できないかと慎重に検証を行いました。しかしながら、新校舎部分だけでは必要な教室数が確保できず、また工事期間中の避難経路を確保した状態で学校運営を続けることが構造上ならびに安全上、不可能なことが判明いたしました。いただいたご提案にお応えできず、無念な思いではございますが、安全と教育環境を両立させるためには現行案が最善であることについて、どうかご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>新校舎からの騒音、給食車両の出入り、フェンスや植栽（落ち葉など）の影響が心配である。</p>	<p>新校舎からの騒音や、車両の出入り、フェンスの高さ、落ち葉など、日々の生活に直結する不安を抱かれるのは当然のことであり、ご不便をおかけする可能性について深くお詫び申し上げます。完全に影響をなくすことは難しい面もございしますが、住宅側には日常的に児童が滞在しない特別教室を中心に配置し防音性を高めるほか、給食車両の出入口は住宅から距離を置くよう設計を進めております。また、植栽には落葉の少ない樹種を選び、フェンスの高さにつきましても防犯・雪対策として皆様のご意見を踏まえて検討いたします。皆様の生活環境への影響を最小限に抑え、少しでも気持ちや和らぐような環境づくりに尽力してまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>

意見
工事期間中の騒音や振動など、生活環境への影響をできるだけ抑えてほしい。
新校舎の外壁の色は、圧迫感のない明るい色（白など）にしてほしい。
住宅と校舎の境界にあるフェンスについては、雪の落下防止や防犯の観点を踏まえて適切な高さを検討してほしい。
新校舎の建設は致し方ないことと理解するので、引き続き住民の意見を聞きながら、壁面や植栽等のしつらえにおいて少しでも寄り添うような環境づくりをしてほしい。

4 近隣住民説明会 協議結果

全4回にわたる説明と意見交換を通じ、皆様から日照や眺望の変化、工事中の騒音など、これまでの平穏な生活環境が変わることへの強いご不安や切実なお声を多数頂戴いたしました。皆様のお気持ちは重々承知しており、多大なご心労とご負担をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

皆様からのご意見を真摯に受け止め、仮設校舎の建設や別の位置への新校舎配置など、様々な可能性を専門家とともに再検証いたしました。しかしながら、工期の大幅な延長や多額の追加費用が見込まれること、ならびに長期間にわたり子どもたちの教育環境へ多大な影響を及ぼすことを鑑み、これらを実現することは極めて困難であるとの結論に至りました。

皆様のご希望に完全にお応えできず誠に心苦しい限りではございますが、現状での最大限の配慮として、新校舎をグラウンド側に配置し、住宅地の敷地境界線からの距離を当初案から後退させて8m確保する建設計画案について、皆様から一定のご理解と合意をいただくことができました。

本市の厳しい制約や事情にご理解をお示しいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。引き続き、外観の色合いやフェンスの高さ、植栽の工夫など、皆様の生活環境への影響が少しでも軽減されるよう、皆様に寄り添った丁寧な環境づくりに尽力してまいります。

5 教育委員会からのお知らせ

今後は、皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえ、新校舎の外壁の色、フェンスの高さ、植栽など、近隣環境に配慮した詳細な設計を進めてまいります。現在進めている実施設計の完了後、令和10年春頃よりプール解体等の工事に着手し、その後、新校舎本体の建設を進める予定でございます。引き続き本市の教育行政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。